

	分解組立手順書 16	0V-16 R0
--	------------	----------

本手順書は，下記対象バルブ型式の分解組立手順書です。

作業を開始する前に，必ず『日阪ボールバルブ取扱説明書』を一読すると共に，必ず『日阪ボールバルブ取扱説明書』と，併用して使用してください。

また，分解組立するときは，各部品に傷を付けないよう細心の注意を払って行ってください

1．対象バルブ型式：WF5，WR5

2．分解

自動弁などの駆動装置付きの場合は，バルブを全閉にした後，再組立を容易にするため，分離箇所マジックインキなどで相マークを印した上，駆動装置をバルブから取り外してください。

2-1. 分解前

次の手順を守って作業を行ってください。

- 1) 安全に作業できるように，十分な作業スペースを確保してください。
- 2) バルブを半開としバルブ内の圧力を抜いてください。またバルブ内に残っている流体を除去および洗浄してください。
- 3) 再組立を容易にするため，ボディとボディキャップの接合部にマジックインキなどで相マークを印しておいてください。
- 4) ボールシートなどの消耗部品は新しい純正部品を準備してください。

2-2. 分解

断面図（４頁）を参照して，次の手順で行ってください。各部品に傷を付けないように注意してください。○内の番号は断面図の品番を示しています。

- 1) ボディ をバイス台などに固定し，安全に分解できるように配慮すると共に十分な作業スペースを確保してください。
- 2) バルブを規定のハンドルまたは適切なスパナ(但し，万一外れても怪我をしないよう注意して使用すること)などを用いて閉の状態にする。
- 3) ボディ とボディキャップ はねじによって接合されています。ボディキャップ の八角部分をレンチなど適切な工具でつかみ，左回りに回して，ボディキャップ をボディ から取り外す。

関連資料	日阪ボールバルブ取扱説明書				
発行日	2002.10.18.	F.N.	0V-16.jtd	承認	太田 2002.10.17.
改訂日			0V-16.DWG	検閲	
				作成	野村 2002.10.17.

- 4) ボール をボディ から取り外す。ボール は、開の状態では外せません。必ず閉の状態にして取り外してください。
- 5) ボールシート をボディ およびボディキャップ から取り外す。
- 6) ガスケット を取り外す。
- 7) ボルト・スプリングワッシャ 2本を緩め、取り外す。
- 8) グランドキャップ をステム から抜取る。
- 9) ステム をボディ から抜取る。
- 10) ボディ およびステム からスラストベアリング を取り外す。
- 11) ステム からリング を取り外す。

2-3. 分解後

- 1) 『日阪ボールバルブ取扱説明書』21, 22頁を参照して各部品の点検を実施してください。
- 2) 分解した金属部品を、水・スチームなどで清浄に洗浄してください。

3. 組立

3-1. 組立前

組立を行う前に次の事項を確認してください。

- 1) ボールシート , スラストベアリング , リング , ガスケットの消耗部品は全て新しい純正部品を準備してください。
- 2) ボール , ステム に傷が無いか確認してください。傷があれば使用できません。新品を購入した上、組立てください。

3-2. 組立

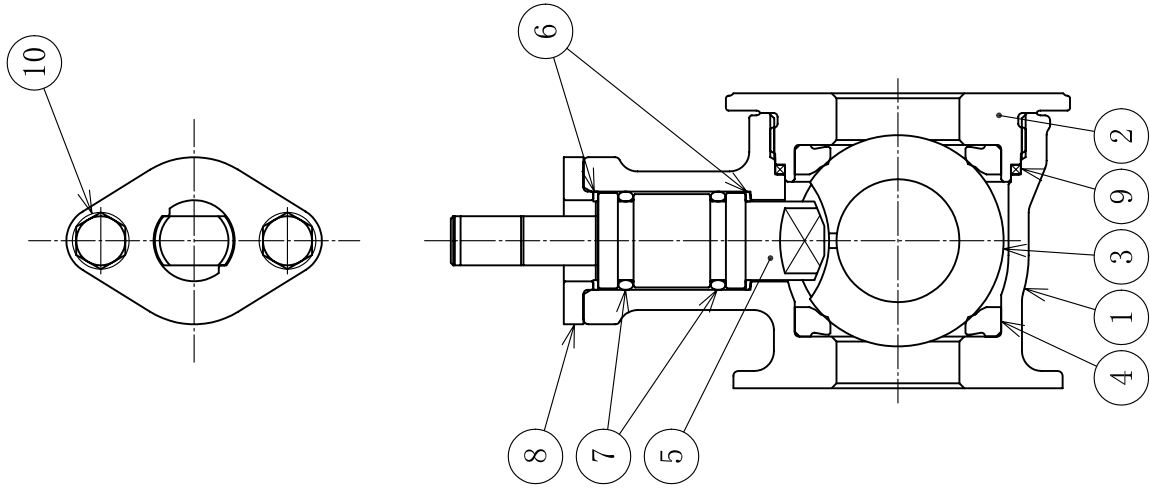
断面図を参照して、次の手順で行ってください。

- 1) ボディ の八角部分を下に、グランド部を手前にして、垂直に置く。
- 2) リング にワセリンを少量塗布する。この作業は、ビニール袋に入れて行うなどして、異物が付着しないように注意して下さい。
- 3) ステム にリング を装着する。
- 4) ステム のボール挿入側にスラストベアリング を装着する。
- 5) ステム をボディ に装着する。
- 6) ステム にスラストベアリング を装着する。
- 7) 断面図を参照して、入れる方向に注意しボディ のグランド部にグランドキャップ を装着する。
- 8) ボルト・スプリングワッシャ 2本を締め付ける。
- 9) 手動弁で、ハンドルを固定する場合、ハンドルを取付の上、スナップリングをスナップリングブライヤを用いて、ステム の溝にはめ込む。手動弁で、ハンドルを取り外して使用する場合、スナップリングの取付けは不要です。(駆動装置付きの場合はスナップリングは付属していません。)
- 10) 断面図を参照して入れる方向に注意し、ボールシート をボディ およびボディキャップ に装着する。

- 11) ステム を閉位置にし，ボール をボディ に装着する。この時，断面図を参照し，ボール 三日月溝底部とステム 下部が接触していないことを，目視およびボール を指で前後に動かして確認する。
- 12) ボディキャップ にガスケット を装着し(ガスケット が落ちる場合は，ボディ のガスケット溝にガスケット を入れる)，ボディ に装着する。
この時，ガスケット をかみ込ませないように注意して装着のこと。ガスケット をかみ込ませたり，正しくボディ ，ボディキャップ に装着されていないと漏れの原因になります。
- 13) ボディ の八角部分をバイスタなど固定し，安全に組立ができるように配慮する。また，ボールが完全に閉になっていることを確認する。
- 14) ボディキャップ のねじ部にワセリンなどの潤滑剤を塗布する。
(かじり防止)
- 15) ボディキャップ の八角部分をレンチなど適切な工具でつかみ，右回りに，相マークの位置まで回して，ボディキャップ をボディ に装着する。この時，ボディキャップ 側のボールシート が落ちないように注意してください。
- 16) ハンドルまたは適切なスパナ(但し，万一外れても怪我をしないよう注意して使用すること)などでステム を反時計方向に回し，バルブを開の状態にする。この時，作動がスムーズであることを確認する。
- 17) バルブ仕様にも因るが，時計回りで閉，反時計回りで開になることを確認する。併せて，全開時にボディ のポートとボール のポートが合っていることを確認する。

3-3. 組立後

- 1) 再組立したバルブは，耐圧検査および弁座漏れ検査を行ない，問題のないことを確認する。基本的には耐圧検査圧力は最高使用圧力の1.5倍とし，弁座漏れ検査圧力は使用圧力とする。
検査は検査圧力の1/2程度まで昇圧し，各部が正常に組立されており，異常のないことを確認した後，徐々に検査圧力まで昇圧してください。
- 2) 自動弁およびウォームギアなど駆動装置付きの場合は，バルブ仕様(駆動装置の開閉位置とバルブの開閉位置など)および分解前に付けた相マークを参照して，駆動装置を取り付けてください。
- 3) 装置にバルブを配管する場合は，『日阪ボールバルブ取扱説明書』に従って作業を行ってください。



—	スナップリング	1
10	ボルト・スプリングワッシャ	2
9	ガスケット	1
8	グランドキャップ	1
7	Oリング	2
6	スラストベアリング	2
5	ステム	1
4	ボールシート	1
3	ボール	1
2	ボデイキャップ	1
1	ボデイ	1

WF5・WR5断面図